

橋本正隆氏文書概要

- 1: 文書群番号 091001
- 2: 文書群名 橋本正隆氏文書
- 3: 出所 橋本正隆家
- 4: 家業・役職等 近世：未詳
近代：伍長(五人組長)／兵庫県穀物検査所園田村穀物生産検査委員
- 5: 地名 摂津国川辺郡椎堂村／兵庫県川辺郡椎堂村／川辺郡園田村椎堂／尼崎市椎堂／尼崎市椎堂1丁目
- 6: 行政区分 ①幕府領・大坂城代領／幕府領／武蔵国忍藩阿部氏(忠吉系)領／幕府領／兵庫県第12区／下食満組戸長役場／園田村／尼崎市
②旗本大島氏(光義系)知行所／幕府領／武蔵国忍藩阿部氏(忠吉系)領／幕府領／(近代以降は①と同じ)
- 7: 歴史 椎堂村は市域北東部、猪名川と藻川の間に位置する。史料上の初見は文禄3年(1594)の『椎堂村検地帳』(『尼崎市史』第5巻)。
近世初期には村の大部が幕府領または大坂城代領、極小部は旗本大島氏(光義系)の知行所、寛永14年(1637)幕府領。元禄5年(1692)全村幕府領となり、同7年武蔵国忍藩阿部氏(忠吉系)領、文政6年(1823)幕府領となった。
村高は文禄3年、慶長10年(1605)に359石余、元禄15年に373石余、天保5年(1834)に378石弱とある。また寛延4年(1751)に百姓本人37人・水呑百姓5人、ほかに6人、安政5年(1858)に家数41軒、人数207人とある。水利は三ツ又井組に属した。氏神は十九(とく)神社(近世には十九社明神)、寺院は浄土真宗本願寺派吉祥寺。
明治22年(1889)以降は園田村以降は尼崎市の大字となった。
橋本家の屋号は「材木屋」、幕末・明治初年の当主名は四郎兵衛。材木を椎堂村集落の南東、猪名川の船着場から陸揚げして、村内・近隣村々に販売していたと伝える。
- 8: 伝来 家の改築に際し家内より発見。平成3年(1991)5月史料館が未整理史料のまま借用し、整理・目録作成を行った。同5年12月、橋本氏が史料館へ寄贈。
- 9: 史料入手先 橋本正隆氏(原蔵者)
- 10: 点数 614点(目録件数600件)
- 11: 年代 元禄5年(1692)～昭和21年(1946)
- 12: 構造と内容 本文書群は近代以降の史料が多く、おもに①兵庫県報、②土地関係、③農業経営関係、④金融関係、⑤橋本家の私的文書、⑥書籍類からなる。
①は明治42年(1909)～昭和15年(1940)までの県報が断続的ではあるが揃っている。②地券証書が多く、③には小作証書や穀物生産検査委員に関連する史料が多く見られる。④は土地売買証書や金子借用証で占められている。
- 13: 関連史料 門田隆夫氏文書(1)(2)、椎堂部落有文書ほか
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 中村由佳